

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-001-0-001.pdf	～	1-001-0-013.pdf	1-1	I	1-1	「事実弁明要旨」草稿			日英同盟論以て終始す／国際協調に努力／戦争犯罪の責任無し（防共協定・軍部大人現役制の役割一日支事変に関し平和解決に努力す）／戦争責任無し		13	赤字等の加筆修正箇所多数あり
1-002-0-001.pdf	～	1-002-0-005.pdf	1-2	I	1-2	廣田擁護調書及誰人表			各事項（満洲国一天羽声明等）毎に調書対象者及び証人を挙げたリスト。同一事項の調書人及び証人は同一人物		2	
			1-3	I	1-3	廣田の立場の研究集（守島）			弁護人弁論私案／「廣田の為の弁護人の弁論演説案」	森島伍郎		
1-003-0-001.pdf	～	1-003-0-002.pdf	1-3	I	1-3-1	扉		扉	表紙		1	
1-003-0-003.pdf	～	1-003-0-008.pdf	1-3	I	1-3-2	目次			目次		3	
1-003-0-009.pdf	～	1-003-0-010.pdf	1-3	I	1-3-3	第一次外相時代		扉			1	
1-003-0-011.pdf	～	1-003-0-015.pdf	1-3	I	1-3-3-1	廣田外相就任前の日本の政治状況			廣田外相就任前の日本の政治的状況 1、廣田弘毅氏は一八七八年二月九州福岡の平和な小市民の子として生まれました。…	守島伍郎	5	
1-003-0-016.pdf	～	1-003-0-018.pdf	1-3	I	1-3-3-2	廣田外相の融和政策			前述の如く廣田氏は一九三四年九月十五日外相に就任しました。彼は満州事変以来失はれた世界の日本に対する信用を回復する事を自分の使命としました。…	守島伍郎	2	
1-003-0-019.pdf	～	1-003-0-021.pdf	1-3	I	1-3-3-3	満洲国関係			1、一九三三年九月廣田氏が外相に就任した時には前に述べました所の満洲国の重要国務は総て陸軍が内面的に指導し、同国との外交交渉は、実質上陸軍が之を行ひ、日本のシビル機関は軍部の手に或る…	守島伍郎	2	
1-003-0-022.pdf	～	1-003-0-023.pdf	1-3	I	1-3-3-4	廣田外相の対支外交（未成）		扉のみ			1	
1-003-0-024.pdf	～	1-003-0-029.pdf	1-3	I	1-3-3-5	日ソ関係			1、廣田氏は一九二三年乃至二六年外務省の欧米局長として直接ソ連問題を取扱ひ殊に一九三〇年乃至三二年大使として莫斯科に在勤した関係からソ連に対し特別の親味を感じ又ソ連の実情と実力とを熟知して居りま	守島伍郎	6	
1-003-0-030.pdf	～	1-003-0-031.pdf	1-3	I	1-3-3-6	海軍軍縮関係（未成）		扉のみ			1	
1-003-0-032.pdf	～	1-003-0-033.pdf			1-3-3-7	廣田内閣時代		扉			1	
1-003-0-034.pdf	～	1-003-0-035.pdf	1-3	I	1-3-3-8	廣田内閣の外交政策			1、一九三六年二月二十六日、所謂二、二六事件が勃発して岡田内閣が瓦解しました後を継いで廣田氏は三月 日内閣を組閣しまし	守島伍郎	1	
1-003-0-036.pdf	～	1-003-0-041.pdf	1-3	I	1-3-3-9	廣田内閣の諸方針決定			一、一九三六年八月七日、廣田内閣の首、外、蔵、陸、海の五相會議に依り「国策の基準」及蔵相を除く他の四相會議に依って「帝国外交方針」が決定されました…	守島伍郎	5	
1-003-0-042.pdf	～	1-003-0-043.pdf	1-3	I	1-3-3-10	廣田内閣の対支政策（未成）		扉のみ			1	
1-003-0-044.pdf	～	1-003-0-052.pdf	1-3	I	1-3-3-11	防共協定			1、一九三五年の夏莫斯科で開かれた第七回コミンテルン大会は共産主義を異なる所の政治的、経済的、社会的の組織と秩序とを有する諸多の国々の共産化…	守島伍郎	8	

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-003-0-053.pdf	～	1-003-0-054.pdf	1-3	I	1-3-3-12	陸海軍大臣現役制(未成)		扉のみ			1	
1-003-0-055.pdf	～	1-003-0-056.pdf			1-3-4	第二次外相時代		扉			1	
1-003-0-057.pdf	～	1-003-0-058.pdf	1-3	I	1-3-4-1	第二次外相就任事情(未成)		扉のみ			1	
1-003-0-059.pdf	～	1-003-0-068.pdf	1-3	I	1-3-4-2	支那事変			一、一九三七年七月七日置溝橋事件が勃発しました。右に関する公電が外務省に入りましたのは事件発生の翌日即ち七月八日であ	守島伍郎	10	
1-003-0-069.pdf	～	1-003-0-072.pdf	1-3	I	1-3-4-3	南京アトロシチース			一、一九三七年十二月十三日頃南京陥落と殆ど同時に福井総領事代理以下十数名の外務省員が南京に着き日本軍兵員の兵秩序的暴状を見ました…	守島伍郎	4	
1-003-0-073.pdf	～	1-003-0-074.pdf	1-3	I	1-3-4-4	南京広東空襲			一、支那事変勃発するや広田外相は日本の軍事的行動に付て国際法を遵守すべき事又第三国の権利々益を尊重すべき事を閣議に於て随時力説し其の都度陸海軍大臣を含む閣僚の賛成を得たのであります…	守島伍郎	1	
1-003-0-075.pdf	～	1-003-0-076.pdf	1-3	I	1-3-4-5	国際連盟諮問委員会及武府会議			一、一九三七年九月二十一日国際連盟から日本政府に対し二十三ヶ国 試問委員会参加方を要請して来ました。…	守島伍郎	2	
1-003-0-077.pdf	～	1-003-0-082.pdf	1-3	I	1-3-4-6	九国条約及不戦条約			一、満州事変以来満州及中国に於て九国条約の解釈及適用に関し日本と列強との間に屢々事議を生じました。…	守島伍郎	5	
1-003-0-083.pdf	～	1-003-0-084.pdf	1-3	I	1-3-4-7	五年計画			一、広田氏は一九三七年六月十日乃至十月二十五日、近衛内閣の企画庁総裁でありま	守島伍郎	1	
1-003-0-085.pdf	～	1-003-0-086.pdf	1-3	I	1-3-5	重臣時代		扉			1	
1-003-0-087.pdf	～	1-003-0-088.pdf	1-3	I	1-3-5-1	重臣時代(未成)		扉のみ			1	
1-003-0-089.pdf	～	1-003-0-090.pdf	1-3	I	1-3-6	裏扉					1	
1-004-0-001.pdf	～	1-004-0-003.pdf	1-4	I	1-4-1	証書類及証人提出順序表			証拠書類提出の順序、及び内訳		3	
1-005-0-001.pdf	～	1-005-0-018.pdf	1-5	I	1-4-2	証書類一覧表(番号順)			証拠書類の一覧		17	
1-006-0-012.pdf	～	1-006-0-022.pdf	1-6	I	1-5-1	廣田第一次外相時代年譜			昭和六年(一九三一)九月十八日 満州事変勃発 当時若槻内閣、外相は幣原男(民政党内閣) 廣田は在ソ大使…		11	
1-006-0-006.pdf	～	1-006-0-011.pdf	1-6	I	1-5-2	廣田首相時代年譜			昭和十一年(一九三六)三月 廣田内閣成立始め吉田茂を外相に擬せるが 陸軍の反対に依り有田外相就任…		5	
1-006-0-001.pdf	～	1-006-0-005.pdf	1-6	I	1-5-3	廣田第二次外相時代年譜			昭和十二年(一九三七)六月四日 近衛内閣成立、廣田第二次外相 廣田は初め辞退せるも天皇の要請に依り就		5	
1-007-0-001.pdf	～	1-007-0-002.pdf	1-7	I	1-6-1	榑護團側書証第二一六七号		「国務大臣答弁 廣田国務大臣 第六十五回帝国 議會衆院予算 委員會議事録」 抄録	国務大臣答弁 廣田国務大臣 ソ連との関係につきましては、私はモスコ ー在勤時以来、そのやうな大問題が極東に起 ってゐる時に日ソ関係を悪化させる事は兩國 にとって好ましい事ではないと信じ…		2	

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日	内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-008-0-001.pdf	～ 1-008-0-009.pdf	1-8	I	1-6-2	「第六十八回帝国議会 貴族院議事速記録」抄録	1936年1月21日	國務大臣廣田弘毅演説(外務大臣) 帝国/外交問題ニ付キマシテ、茲ニ最近/傾 向ヲ述ベ且ツ...		5	
1-010-0-001.pdf	～ 1-010-0-003.pdf	1-10	I	1-6-3	「第六十九回帝国議会 貴族院議事録第貳号」 抄録	1936年5月2日	園田武彦男爵質疑/質疑ニ答フ 只今園田男爵/御質問ニ対シテ御答ヘ致シ マス...		2	
1-010-0-004.pdf	～ 1-010-0-012.pdf	1-10	I	1-6-4	「第六十九回帝国議会 貴族院議事速記録第貳 号」抄録	1936年5月6日	諸君第六十九回帝国議会ハ既ニ早々招集セ ラル可キ筈デアリマシタガ、過般/事件ニヨリ マシテ内閣更迭シ、不肖凶ラズモ大命ヲ拜		5	
1-009-0-001.pdf	～ 1-009-0-010.pdf	1-9	I	1-6-5	「第六十九回帝国議会 衆議院予算委員会議事 録」抄録	1936年5月9日	植原委員 次/質問ハ少シ是ハ難シイ質問デスガ、私/ 御質問申ス趣旨ヲドウカ誤ラナイヤウニシテ 御答弁ヲ願ヒタイト思ヒマス...		9	
1-011-0-001.pdf	～ 1-011-0-002.pdf	1-11	I	1-6-6	「第六十九回議会議貴族 院議事録第六号」抄録	1936年5月12日	三宅戸敬兄子爵/質疑ニ答フ 只今三宅戸子爵ヨリ私大命拜受当時/心境 ニ付テ御尋ネニ相成ツタノデアリマス...		1	
1-011-0-003.pdf	～ 1-011-0-004.pdf	1-11	I	1-6-7	「第六十九回議会議貴族 院議事録第七号」抄録	1936年5月14日	津村重金/質疑ニ答フ 只今津村君ハ国体明確ト拳国一致ト云点ヲ 中心ニシテ色々御意見ヲ述ベラレ...		1	
1-011-0-005.pdf	～ 1-011-0-008.pdf	1-11	I	1-6-8	「第六十九回議会議貴族 院議事録第九号」抄録	1936年5月17日	赤池濃/質疑ニ答フ 只今赤池濃君/御述ベニナツタ今日世界/ 各方面非常ナ国際關係上ノ...		2	
1-011-0-009.pdf		1-11	I	1-6-9	「第六十九議会議貴族院 議事録第十四号」抄録	1936年5月24日	柳原義光伯爵ニ答フ 只今柳原伯爵ヨリ宗教/必要ニ付テ御述ベニ ナリマシタガ、私モ我ガ国民精神ノ...		1	
1-011-0-010.pdf	～ 1-011-0-011.pdf	1-11	I	1-6-10	「第六十九議会議貴族院 議事録第十五号」抄録	1936年5月25日	菊池武夫君ニ答フ 只今菊池男爵ヨリ御述ベニナリマシタ点ニ就 キマシテ私/御答ヲ致シタイト思ヒマス...		1	
1-012-0-001.pdf		1-12	I	1-7-1	三、軍令部総長官殿下 御口述覚(草案)		・軍令部総長伏 見宮口述 ・昭和13年1月 11日御前會議 關係 史料より の抜 草 と思 われ る		1	
1-013-0-001.pdf	～ 1-013-0-007.pdf	1-13	I	1-7-2	極秘二、御前會議ニ於 テ大本營陸軍部トシテノ 御報告(草案)		・昭和13年1月 11日御前會議 關係 史料より の抜 草 と思 われ る		7	
1-014-0-001.pdf	～ 1-014-0-006.pdf	1-14	I	1-7-3	極秘四、御前會議ニ於 ケル意見陳述/要旨(平 沼樞府議長)		・昭和13年1月 11日御前會議 關係 史料より の抜 草 と思 われ る		6	

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日	内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-015-0-001.pdf	～	1-015-0-002.pdf	1-15	I	1-7-4	附記(左記ハ前記要旨手交ニ当リ平沼枢密院議長ヨリ堀内次官ニ述ヘタル趣旨ナリ)		・昭和13年1月11日御前会議関係史料よりの抜草と思われる		2	
1-016-0-001.pdf	～	1-016-0-002.pdf	1-16	I	1-7-5	極秘五. 帝国政府声明(昭和十三年一月十六日)		第一次近衛声明		2	重複
1-017-0-001.pdf	～	1-017-0-002.pdf	1-17	I	1-7-6	別紙甲 日支講和交渉条件細目		「支那事変処理根本方針」(御前会議議題)[1938年1月11日]より		2	全9条付記2
1-018-0-001.pdf			1-18	I	1-7-7	別紙乙別紙甲中保障条項タルモノ左/如シ		「支那事変処理根本方針」(御前会議議題)[1938年1月11日]より		1	
1-019-0-001.pdf	～	1-019-0-003.pdf	1-19	I	1-7-8	日満支三国ハ互ニ相共同シテ文化/提携防共政策ノ実現ヲ期スルコト		「支那事変処理根本方針」(御前会議議題)[1938年1月11日]より		3	前頁欠
1-020-0-001.pdf	～	1-020-0-004.pdf	1-20	I	1-8-1	武府會議に関する廣田の立場	1946年1月5日	・広田弁護側論述資料か。	森島伍郎	4	1946 1 5の記載あり
1-021-0-001.pdf	～	1-021-0-006.pdf	1-21	I	1-8-2	支那事変に関する廣田の立場	1946年1月6日	・広田弁護側論述資料	森島伍郎	6	1946 1 6守島の記載あり
1-022-0-001.pdf	～	1-022-0-004.pdf	1-22	I	1-8-3	廣田三原則決定事情	1946年1月6日	・広田弁護側論述資料		4	1946 1 10守島の記載あり
1-023-0-001.pdf			1-23	I	1-8-4	廣田弘毅桑園派遣事情	1946年1月10日	・広田弁護側論述資料		1	1946 1 10守島の記載あり
1-024-0-001.pdf	～	1-024-0-006.pdf	1-24	I	1-8-5	南京事件に関する外務省の立場		広田弁護側論述資料		6	

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-025-0-001.pdf	～ 1-025-0-011.pdf	1-25	I	1-9	「昭和二十一年四月二十二日(月曜)十時ヨリ十二時二十四日(水曜)十時ヨリ十二時及二時ヨリ四時三十分市ヶ谷IPSニ於テ「ハイド」検事ノ召喚ヲ受ケ出頭セル際			先ヅ極東人名年鑑/抜キ書キナリト前提シ「ハイド」検事ハ小生履歴ヲ読ミ上ゲタルニ付多少追補訂正ノ後・・・	武者小路公共	10	
1-026-0-001.pdf	～ 1-026-0-002.pdf	1-26	I	1-10-1	南京アトロシテーズの問題に付いて		1-3「広田の為の弁護人の弁論演説」当該問題に関し証拠資料	一九三七年十二月、我軍が南京に入城する其のあとを遂つて我南京総領事(福井敏之氏)も上海から南京に帰復した。	石射猪太郎	2	
1-027-0-001.pdf	～ 1-027-0-002.pdf	1-27	I	1-10-2	石射氏供述稿		1-3「広田の為の弁護人の弁論演説」当該問題に関し証拠資料	一、私は一九一五年十一月十一日外務省の勤務に入り外務本省並中国及欧米各地にて勤務の後一九三七年五月十一日乃至一九三八年十一月八日東亜局長の任にあり、其の後に桑園大使、在ブラジル大使及在ビルマ大使を歴任の後一九四六年八月七日外務		2	
1-028-0-001.pdf	～ 1-028-0-010.pdf	1-28	I	1-10-3	南京事件に関する日高述(昭和二十一年十一月二十九日記)		・日高信六郎元上海総領事 ・1-3「広田の為の弁護人の弁論演説」当該問題に関し証拠資料	一、私ハ昭和十二年(一九三七年)四月三十日カラ同年八月十六日迄大使館参事官トシテ南京日本大使館ニ勤務シ、次デ八月二十九日カラ翌年(一九三八年)三月三日迄同ジ資格デ上海ニ居リマシタガ・・・		10	1-29に続く
1-029-0-001.pdf		1-29	I	1-10-3-2	在南京米国大使館自動車借用の件		・日高信六郎元上海総領事 ・1-3「広田の為の弁護人の弁論演説」当該問題に関し証拠資料	昭和十三年(一九三八年)一月五日在上海米国総領事発国務長官宛電報中記載/件ニ関スル実情左ノ通り・・・		1	1-28南京事件に関する日高述の続き
1-030-0-001.pdf	～ 1-030-0-024.pdf	1-30	I	1-11-1	日独防共協定関係備忘		有田八郎による「日独防共協定関係」回顧	白耳義大使トシテ赴任(昭和八年)前既ニ日独同盟ヲ云々スル噂ガ伝ヘラレテ居タガ当時外相タリシ廣田氏ハ斯ル噂ハ強テ之ヲ打消スノ要モナカルベシトノ意見デアッタ・・・		24	
1-031-0-001.pdf	～ 1-031-0-027.pdf	1-31	I	1-11-2	日独防共協定関係備忘(1-30の複写力)					27	
1-032-0-001.pdf	～ 1-032-0-015.pdf	1-32	I	1-12	廣田弘毅伝記のコピー			目次及び228頁～249頁		15	『広田弘毅』 広田弘毅伝記刊行会編1966年12月1日中央公諸事業出

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日	内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-033-0-001.pdf	～ 1-033-0-012.pdf	1-33	I	1-13-1	防共協定問題に関するX氏談(1946X116)		1-3「広田の為の弁護人の弁論演説」当該問題に関し証拠・参考資料 一、日本は多年共産主義の日本及び近隣地域に対する侵入に対し多大の関心を持ち其の防禦に努めた…	X氏	1 1	赤字で「堀内氏」との書き込みあり。堀内謙介の回顧談か？
1-033-0-013.pdf	～ 1-033-0-019.pdf	1-33	I	1-13-2	防共協定に関する廣田氏の立場(1946X121)	1946年11月21日	1-3「広田の為の弁護人の弁論演説」当該問題に関し証拠一番参考資料 一、日本は多年共産主義の日本及び近隣地域に対する侵入に対し多大の関心を持ち其の防禦に努力した…	守島伍郎	7	
1-033-0-020.pdf	～ 1-033-0-022.pdf及び 1-033-0-023.pdf	1-33	I	1-13-3	堀田談(1946I×30)	1946年11月30日	・堀田正昭元イタリア大使 ・1-3「広田の為の弁護人の弁論演説」当該問題に関し証拠・参考資料 1、自分が伊太利に赴任する直前(既に日独間には防共協定成立し伊との間には未成立なりしも杉村大使が交渉中なりし時期なり)廣田外相が余に告げて斯く云った。即ち杉村は伊との間に相当急進的に話を行って居るかも知れないが貴官着任後此の交渉に急速進展に余り熱心になる必要はない。…		3	
1-033-0-023.pdf	～ 1-033-0-030.pdf	1-33	I	1-13-4-1	防共協定問題に関するH氏供述案上編(1947Ⅲ12)	1947年3月12日	1-3「広田の為の弁護人の弁論演説」当該問題に関し証拠・参考資料 一、多年日本政府が共産主義運動の我国に侵入する事に多大の関心を持ち其の防禦に努めた事は周知の事実であります。…		7	
1-033-0-031.pdf	～ 1-033-0-039.pdf	1-33	I	1-13-4-2	防共協定一件H氏供述案下編(1947Ⅳ114)	1947年3月14日	1-3「広田の為の弁護人の弁論演説」当該問題に関し証拠・参考資料 有田氏は武府在勤中日本ではショービニストが対ソ開戦を宣伝して居ると云ふ事を知りました。…		9	
1-033-0-040.pdf	～ 1-033-0-042.pdf	1-33	I	1-13-5	三国同盟條約のアイデアに付廣田氏は全然関係なき事		ノCGΣ刀/口/UJリ・JJ4/ノ使供述(P.0.479.488.490.487.477.604)を 守島伍郎が纏め作成 大島供述書を綜合すると廣田氏が三国同盟條約のアイデアに全然関係なき事が解る。…	守島伍郎	3	

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-033-0-043.pdf	～ 1-033-0-045.pdf 及び 1-033-0-046.pdf	1-33	I	1-13-6	主題不明(日本ではソ連とコミンテルンは表裏一体をなすものであり…)		防共協定関係に関する回顧談。前段部欠落。	日本政府も亦ソ聯政府に対し抗議しました。日本は右コミンテルン大会の行動に付特別の不满を感じる理由がありました。…		3	
1-033-0-046.pdf	～ 1-033-0-047.pdf	1-33	I	1-13-7	廣田述三国同盟條約一件(19471117)	1947年3月7日	弁護人花井忠作成参考資料の写	近衛内閣が重田を呼んで三国条約締結の次第を報告した事がある。政府からは近衛、松岡、東条、星野等が出席して居った。…	「花井氏参考の写」との書き込みあり	2	
1-033-0-048.pdf	～ 1-033-0-049.pdf 及び 1-033-0-050.pdf	1-33	I	1-13-8	防共協定供述案挿入資料(1947年3月23日)			私は其の機会に日蘭間の平和的接近に関する外務省の努力の他の一例を述べ度いと思ひます。…		1	
1-033-0-050.pdf	～ 1-033-0-063.pdf	1-33	I	1-13-9	三国同盟に就て		三国同盟に関する広田への弁護資料。演説資料	独伊との間に軍事同盟を締結すべしとの議は、昭和十三年夏第一次近衛内閣当時、大島駐独武官を通じ、独逸側より提案せられた		13	
1-034-0-001.pdf	～ 1-034-0-010.pdf	1-34	I	1-14	有田時代の対支問題		桑島主計述	一、昭和十一年二月二十六日の所謂二、二六事件で岡田内閣がつぶれ其の後に廣田内閣が成立し支大使有田が外相になつ		9	
1-035-0-001.pdf	～ 1-035-0-002.pdf	1-35	I	1-15	米内光政供述稿		米内光政供述より三国同盟関係に付き抜草	私は一九四〇年一月十六日から七月二十二日迄総理大臣でありました。廣田弘毅氏は同年三月十三日から私の内閣の存続中該内閣の参議でありました。…		2	
1-036-0-001.pdf	～ 1-036-0-002.pdf	1-36	I	1-16-1	九国条約に関する廣田の立場(甲)(194713)		・1-3関係資料「(甲)」とあり草稿と思われる	一、不戦条約及九国条約に関する日本の立場は既に他の弁護人に依つて詳述されたから余は更に余り多く之に論及する事をしない、然し余は茲に廣田の實際政治家としての此等問題に関する立場を詳説するの必要を感		2	
1-037-0-001.pdf	～ 1-037-0-004.pdf	1-37	I	1-17	南市難区監察委員会		支那上海「ジャキ・ゾーン」/歴史(原英文)抄訳	緒言 本案ハ中日両国官憲ノ同情的協力ニ依リ完成スルコトガ出来タコトヲ委員会ハ充分ニ認め、茲ニ蔣介石元帥、宋子文氏・上海市		4	
1-038-0-001.pdf	～ 1-038-0-002.pdf	1-38	I	1-18	縁遠事件に関する外務省の立場(194719)	1947年1月9日	弁護側論述資料か。	一、古い事であるから余り記憶に残っては居ないが関東軍の内蒙古工作の初まったのは昭和十年五月の日支大使交換以後の事の様思ふ。又関東軍乃至天津軍の北支工作が顕著になった来たのも同時期である。…		2	
1-039-0-001.pdf	～ 1-039-0-004.pdf	1-39	I	1-19-1	東支鉄道買収問題に関する廣田の立場(194718)	1947年1月8日	弁護側論述資料か。	一、昭和七年四月十五日在京トロヤノフスキ大使は芳澤外相を来訪し本国政府の訓令に依る次第には非るもと前提し、日ソ間一般問題(東支鉄道問題含む)に付協約を締結せんが為内輪の話を為す事としては如何と提		4	
1-039-0-005.pdf	～ 1-039-0-007.pdf 及び 1-039-0-008.pdf	1-39	I	1-19-2	(追稿第三)東支鉄道買収の件(1947129)	1947年1月29日	弁護側論述資料か。	一、廣田は昭和五年十二月乃至昭和七年九月在ソ大使の任にあり日ソ友好関係の増進に努めたが就中最も顕著なものは、一つは一九二八年の日ソ漁業条約に基漁区問題の解	守島伍郎	3	
1-039-0-008.pdf	～ 1-039-0-011.pdf	1-39	I	1-19-3	東支鉄道譲渡問題に関する大田氏供述稿		直前資料の参考資料。	一、私は一九〇四年外務省に入り一九三七年九月に同省の勤務から退職しました。…		4	

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日	内容(説明)	作成者(差出人)	枚数	備考
1-040-0-001.pdf	~	1-040-0-002.pdf	1-40	I	1-20	検事文書二一六一廣田外相「リーロス」会談要領		大臣、満州国ノ幣制確率ハ要スルニ日本ノ指導ト援助ニヨリ始メテ行ハル、次第二目下ノ支那ニテハ到底見込ナシ...		2	「花井提出セズ」と鉛筆で書込あり
1-041-0-001.pdf	~	1-041-0-002.pdf	1-41	I	1-16-2	九国条約等に関する廣田の立場(乙)(1947113)	1947年1月13日	・1-3関係資料 ・「(甲)」とあり草稿と思われる		2	
1-042-0-001.pdf	~	1-042-0-038.pdf	1-42	I	1-21	巢鴨版画集		ノ   /コノ ノフ5 4-		38	ノ   ノコノノ μ j IL口
1-043-0-001.pdf	~	1-043-0-002.pdf	1-43	I	1-22	南京及廣東空襲に関する件(1947119)	1947年1月19日	・1-3関係資料 ・弁護側論述資料か。	守島伍郎	2	
1-044-0-001.pdf	~	1-044-0-003.pdf	1-44	I	1-23-1	満州国に関する廣田の立場(1947124)	1947年1月24日	・1-3関係資料 ・弁護側論述資料か。		3	
1-044-0-004.pdf	~	1-044-0-009.pdf	1-44	I	1-23-2	満州国に関する廣田の立場(改訂稿)(19471115)	1947年2月15日	・1-3関係資料 ・弁護側論述資料か。		6	(改訂稿1947 II 15)の記述あり
1-044-0-010.pdf	~	1-044-0-012.pdf 及び 1-044-0-013.pdf	1-44	I	1-23-3	満州国に関する廣田の立場(改訂稿)(1947129)	1947年1月29日	・1-3関係資料 ・弁護側論述資料か。		3	(改訂稿1947 I 29)の記述あり
1-044-0-013.pdf	~	1-044-0-021.pdf	1-44	I	1-23-4	満州国に対する廣田の立場に付K氏供述(1947113)	1947年2月3日	・1-3関係資料 ・弁護側論述資料か。 ・K氏判別不可。 要検討		9	
1-045-0-001.pdf	~	1-045-0-010.pdf	1-45	I	1-24-1	「日支事変への広田外相の立場」草稿		・草稿の一部または、前段部紛失資料と考えられる。		10	(二)から開始 訂正箇所あり
1-046-0-001.pdf	~	1-046-0-011.pdf	1-46	I	1-24-2	「日支事変への広田外相の立場」(完成稿)		・直前資料の完成版 ・前段部欠落も同様		11	(二)から開始
1-047-0-001.pdf	~	1-047-0-007.pdf	1-47	I	1-25-1	別紙(甲)支那以外に関するもの		「国策の基準」・「帝国外交方針」からの関連資料所引用書		7	

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-048-0-001.pdf	～	1-048-0-007.pdf	1-48	I	1-25-2	別紙(乙)支那以外に関するもの		「北支処理要綱」 「北支処理要綱」からの関連ケ所引用書	本稿では主として検事提出の書証二一五、北支処理(昭和十一年一月三日陸軍省)同二一七第二次北支処理要綱(同年八月十一日、関係省決定)を延用する…		7	
1-049-0-001.pdf	～	1-049-0-003.pdf 及び 1-049-0-004.pdf	1-49	I	1-26-1	(追稿第一) 廣田弘毅第一次外相就任前の日本の政治情勢(1947126)	1947年1月26日	弁護側論述資料か。	一、廣田は明治十一年二月九州福岡の平和な小市民の子として生れた。日本のシビルの学制に従って小学校、中学校及高等学校を経て東京帝国大学で法学科に入り明治三十八年之を卒業して…	守島伍郎	3	
1-049-0-004.pdf	～	1-049-0-011.pdf	1-49	I	1-26-2	第一次外相たりし時代廣田弘毅氏の日支関係改善に関する努力に就て		演説用原稿草稿か。	廣田氏は昭和八年九月中旬に内田伯の病氣退任を繼いで外相の任に就いた…		8	
1-049-0-012.pdf	～	1-049-0-014.pdf	1-49	I	1-26-3	(追稿第二) 廣田第一次外相時代の平和的努力(1947130)	1947年1月30日	弁護側論述資料か。	一、「追稿第一」後段に於て述べた様な状況に於て廣田は一九三三年九月十四日外相に就任した…	守島伍郎	3	
1-050-0-001.pdf	～	1-050-0-008.pdf	1-50	I	1-27-1	海軍條約廃棄等に付き、弁護人論述案		1-3史料で欠落していた事項	一、華府條約廃棄通告は共等條約の規定に基く適法の措置である又其他海軍制限問題に關し日本政府の執った措置は國際法及國際慣行に照し何等違法行為ではない…		8	
1-050-0-009.pdf			1-50	I	1-27-2	花井様			海軍軍縮一件は先日御話したる理由に依り証人を出さず	守島伍郎	1	
1-050-0-010.pdf	～	1-050-0-011.pdf 及び 1-050-0-012.pdf	1-50	I	1-27-3	華府海軍條約及倫敦條約廢棄/件等	1946年12月23日	廣田氏と會談した左記に付諒承を得たり	華府海軍條約及倫敦條約廢棄/件等 一、右兩條約廢棄は此等條約の規定に基く適法の措置にして何等異法行為に非ず…	守島伍郎	2	
1-050-0-012.pdf	～	1-050-0-017.pdf	1-50	I	1-27-4	海軍條約廢棄等に関する廣田の立場(1947123)旧稿に代るもの也)	1947年1月23日	弁護側論述資料か。	一、華府及倫敦條約廢棄通告は此等條約の規定に基く適法の措置である又其他海軍制限問題に關し日本政府の執った措置は國際法及國際慣行に照し何等違法行為ではな		5	
1-051-0-001.pdf	～	1-051-0-003.pdf	1-51	I	1-28-1	有田氏供述書草稿(未定稿)			一、自分ハ一九〇九年十二月廿八日領事官補二任ゼラシ、爾來引續キ外務省ニ奉職シ一九三六年四月二日廣田内閣/外務大臣二任ゼラレー一九三七年二月二日之ヲ辭職シ	有田八郎	3	
1-051-0-004.pdf	～	1-051-0-006.pdf	1-51	I	1-28-2	有田氏供述書草稿(草稿)			一、自分は一九〇九年十二月廿八日領事官補二任ゼラシ、爾來引續キ外務省ニ奉職シ一九三六年四月二日廣田内閣/外務大臣二任ゼラレー一九三七年二月二日之ヲ辭職シ	有田八郎	3	
1-051-0-007.pdf	～	1-051-0-009.pdf	1-51	I	1-28-3	供述書草稿	昭和22年1月末		昭和十二年八月初旬当時山梨県山中湖畔ニ避暑中ノ自分ハ廣田外務大臣ヨリ至急面会シ度旨/招電ニ接シテ直ニ上京外相官邸	有田八郎	2	
1-052-0-001.pdf	～	1-052-0-003.pdf	1-52	I	1-29-1	日ソ不可侵條約締結問題に関する廣田の立場	1947年1月31日	弁護側論述資料か。	一、昭和五年十二月廣田氏が莫斯科に着任した後十個月にして六年九月滿州事變が勃發した…		3	
1-052-0-004.pdf	～	1-052-0-006.pdf	1-52	I	1-29-2	大正十五年乃至昭和八年日ソ不可侵條約問題要領		弁護側論述資料か。	一、大正十五年八月在日ソ連代理大使ベセドフスキーより出淵次官に対し、ペー個の考として日ソ間に獨ソ中立條約(一九二六年四月締結)の如きパクトを締結しては如促との		3	

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日	内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-053-0-001.pdf	～ 1-053-0-002.pdf	1-53	I	1-29-3	日ソ不可侵条約問題追加資料	1947年2月2日	弁護側論述資料か。 昭和七年十二月末日日本政府に依る日ソ不可侵条約締結方不承諾に対する廣田の立場に関しては別稿記載の通であるが、彼は翌八年九月即ち前記不承諾表明後約八ヶ月にして外相になちたが…		2	
1-054-0-001.pdf	～ 1-054-0-003.pdf	1-54	I	1-30-1	堀内氏供述参考資料	1947年2月2日	堀内謙介。 1. 対華宣戦布告問題/2. 新政権問題に関する広田外相の立場/3. 広田外相辞職問 (一)対華宣戦布告問題 廣田氏の外相就任中、戦局の拡大に伴い本国内で宣戦布告を主張するものが現れました…		3	
1-054-0-004.pdf	～ 1-054-0-010.pdf	1-54	I	1-30-2	堀内氏参考資料	1947年2月2日	堀内謙介 防共問題 甲、防共問題の由来（廣田時代） 一、多年日本政府が共産主義運動の我国に侵入する事に多大の関心を持ち其の防禦に努めた事は周知の事実であります…		7	
1-054-0-011.pdf	～ 1-054-0-013.pdf	1-54	I	1-30-1	堀内氏供述参考資料	1947年2月2日	堀内謙介 冒頭と重複史料 (一)対華宣戦布告問題 廣田氏の外相就任中、戦局の拡大に伴い本国内で宣戦布告を主張するものが現れまし		3	
1-054-0-014.pdf	～ 1-054-0-015.pdf	1-54	I	1-30-3	支那事変堀内氏供述追加		・九カ国条約と武府会議に関する供述 九月二十一日国際連盟から日本政府に対し二十三ヶ国語問委員会参加方を要請して来ました…		2	
1-054-0-016.pdf	～ 1-054-0-024.pdf	1-54	I	1-30-4	支那事変(主として堀内述に依る)	1947年1月12日	・弁護側論述資料か。 ・草稿 一、支那事変の勃発は外務省は全く予想しなかった。尤も後から考へるとそう云ふ事態を誘致する様な一般状況は存在して居た様に思はれる。…		8	
1-055-0-001.pdf	～ 1-055-0-002.pdf	1-55	I	1-31-1	(追稿第四)廣田内閣の融和政策	1947年2月2日	・弁護側論述資料か。 ・1-3関係資料 一、一九三六年二月二十六日の所謂二、二六事件の後廣田は首相に任ぜられた彼の起用は往年廣田が大学で親しく学んだ教授であり、而して当時内大臣であった温和主義者		2	
1-056-0-001.pdf	～ 1-056-0-006.pdf	1-56	I	1-31-2	(追稿第五)北支及内蒙に於ける陸軍の策動に関する廣田内閣の立場	1947年2月3日	・弁護側論述資料か。 ・1-3関係資料 或は検事は主張するであろう、政府は陸軍の北支及内蒙に於ける勝手な策動を制圧すべきではないか、又右制圧の能力がなければ政府は辞職すべきではないかと。…		6	
1-057-0-001.pdf		1-57	I	1-31-3	海南島占拠に対する廣田の立場	1947年2月3日	弁護側論述資料か。 一月三十一日？検事提出のレヂメ中に於て廣田が海南島選挙に関しの責任ありと述べたが、右に対し検事は何等証拠を示し居らざる一方廣田は左の反証を挙げ得べし…		1	
1-058-0-001.pdf	～ 1-058-0-017.pdf	1-58	I	1-31-4	「在日十年」書誼解説	1947年2月5日	ジョセフ・C・グルーの著書よりの関連ヶ所抜草 廣田外相就任前の日本政界		17	
1-059-0-001.pdf	～ 1-059-0-007.pdf 及び 1-059-0-008.pdf	1-59	I	1-10-3	日高信六郎供述書		一、私は大正八年外務省に入り欧州及東京で勤務の後昭和七年より翌八年の初まで十ヶ月間総領事として南京に在勤しました。それから本省に帰り約三年間人事課長とし		7	
1-059-0-008.pdf	～ 1-059-0-012.pdf	1-59	I	1-32	支那事変に関する日高述		一、自分は十二年四月末に参事官として南京に着任した。当時日支間の一般の空気は自分の見た所では明朗…		5	

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日	内容(説明)	作成者(差出人)	枚数	備考
1-060-0-001.pdf	~	1-060-0-002.pdf	1-60	I	1-33	五年計画と廣田の關係に関する一考察	1947年2月21日	一、昭和二十二年一月三十一日檢事提出文書に於て廣田は一九三七年(十二年)六月四日第一次近衛内閣の外相たると共に第一次企画院の總裁に就任せるが...	守島伍郎	2	
1-061-0-001.pdf	~	1-061-0-003.pdf	1-61	I	1-34	昭和十一年度廣田内閣の議定せる諸方針及右に關係ある文書に關す	1947年2月22日	一、昭和二十二年一月三十一日提出檢事文書に日く北支及蒙古の各地に於て日本に依り所謂獨立運動が煽動助長せられたる		3	
1-062-0-001.pdf	~	1-062-0-002.pdf	1-62	I	1-35	供述書草案	昭和22年2月	華北事件に關する供述 私は昭和十二年八月初旬天津より上海に歸つた。すると其の翌日...	川越茂	2	
1-063-0-001.pdf	~	1-063-0-008.pdf	1-63	I	1-36-1	昭和二十二年一月掛一日檢事提出文書の廣田關係部分に対する研究	1947年3月3日	各事項(對ソ關係・滿洲國關係・北支内蒙問題・倫敦海軍會議關係・陸海軍大臣現役制問題等)に關する檢事局提出文書との照 冒頭 サンマリー第。一。頁及同付屬書証二二〇八ABC、一一一六一八、二二六〇右は守島未入年なり...	守島伍郎	8	
1-064-0-001.pdf	~	1-064-0-003.pdf	1-64	I	1-36-2	昭和二十二年一月掛一日檢事提出文書支那事變關係に付説明	1947年3月3日	書証九四九(十二年七月二十一日、ハル覺書、米国居中調停の件)...		3	
1-065-0-001.pdf	~	1-065-0-005.pdf	1-65	I	1-36-3	既成書証分類一覧表	1947年3月5日	各事項(路溝橋事件迄の支那問題一天羽声明一日ソ關係・海軍條約廢棄及海軍會議脱退等)關係書証一覧表 蘆溝橋事件迄の支那問題(昭和八年九月一十二年七月)...		5	
1-066-0-001.pdf	~	1-066-0-006.pdf	1-66	I	1-37-1	井野硯供述	1947年3月6日	企画庁時代に關する供述 1、私は昭和十二年六月から九月迄、企画庁で廣田總裁の下に次長をしました...	井野硯	3	
1-067-0-001.pdf	~	1-067-0-002.pdf	1-67	I	1-37-2	廣田企画庁總裁に就て井野氏供述稿	1947年3月6日	直前史料と同内容。清書版か。 一、私は一九三七年六月日から九月日迄企画庁で廣田總裁の下で次長をしまし	井野硯	2	
1-068-0-001.pdf	~	1-068-0-019.pdf	1-68	I	1-38-1	昭和八年乃至十二年二月支那問題に關する桑島供述第一号	1947年3月8日	桑島主計の供述書より、広田の對中国政策に關する拔草史料。 二、前述しました通り私は昭和八年月、在天津總領事から轉じて亜細亞局長に任命されました...		19	

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-069-0-001.pdf	～ 1-069-0-004.pdf 及び 1-069-0-005.pdf	1-69	I	1-38-2	天羽声明に関する桑島氏供述稿	1947年3月16日	桑島主計の述稿より、本件につき、守島のまとめ部分があり。	一、一九三四年四月、廣田外相の方針に基づき有吉公使が国民政府行政院長兼外交部長との間に日華関係改善の商議を重ね漸く其の前途に…		4	
1-069-0-005.pdf	～ 1-069-0-010.pdf 及び 1-069-0-011.pdf	1-69	I	1-38-3	天羽声明に関する廣田の立場	1946年11月25日	直前史料からの継続史料。	1、廣田は昭和八年九月新に外相に就任した彼は満州事変、日本の満州国承認及日本の聯盟脱退に依り非常に悪化された日本と欧米諸国との関係の改善及支国交の融和を自分の最重要なる使命と考へ…		6	日付から、桑島の述稿以前に作成か。
1-069-0-011.pdf	～ 1-069-0-012.pdf	1-69	I	1-38-4	支那新政権問題に関する廣田の立場	1947年2月17日		一、昭和十二年十二月十四日北京に王克敏氏を中心とする中華民国臨時政府が樹立され又翌十三年三月二十八日南京に梁鴻志氏等を中心とする中華民国維新政府が樹立されました。		2	三茶目録には3枚とある 直後の史料に「桑島供述中に挿入」とあることから、桑島主計の供
1-069-0-013.pdf	～ 1-069-0-013.pdf 及び 1-069-0-014.pdf	1-69	I	1-38-4-1	桑島供述中に挿入		天羽声明に関する供述。	有吉汪両氏間の日華国交改善に関する商議が漸く緒に着いた時期、即ち四月十七日に天羽情報部長の非公式談話問題なるものが		1	
1-069-0-014.pdf	～ 1-069-0-023.pdf 及び 1-069-0-024.pdf	1-69	I	1-38-5	桑島主計供述稿	1947年3月29日	1-38-1史料の原本	一、私は一九〇八年十月外務省に入り、爾来外務本省及中華民国、米国の各地に在勤の後一九三三年八月乃至一九三七年二月亜細亜局長（一九三四年六月以後東亞局長と名称を変更す）となり…		1 1	
1-069-0-024.pdf	～ 1-069-0-029.pdf	1-69	I	1-38-6	桑島氏参考資料		天羽声明に関する詳細の事情 ／ 第一次北支処理要綱／昭和十年十一月二十五日 外務大臣発有吉公子宛電報第三一四号／南京交渉中断の中絶の	(A)天羽声明に関する詳細の事情 一、一九三四年四月廣田外相の方針に基づき有吉公使が国民政府行政院長兼外交部長との間に日華関係改善の商議を重ね漸く其の前途に曙光が認めらるるS.様になった…		6	
1-069-0-030.pdf	～ 1-069-0-031.pdf 及び 1-069-0-032.pdf	1-69	I	1-38-7	(別添)縁遠事件に関する外務省の立場未定稿	1947年1月9日		一、古い事であるから余り記憶に残って居ないが関東軍の内蒙古工作の初まったのは昭和十年五月の日支大使交換以後の様に思		2	
1-069-0-032.pdf	～ 1-069-0-037.pdf 及び 1-069-0-038.pdf	1-69	I	1-38-6-1	桑島氏参考資料		1-38-6と同一史料。	(A)天羽声明に関する詳細の事情 一、一九三四年四月廣田外相の方針に基づき有吉公使が国民政府行政院長兼外交部長との間に日華関係改善の商議を重ね漸く其の前途に曙光が認めらるるS.様になった…		6	
1-069-0-038.pdf	～ 1-069-0-039.pdf 及び 1-069-0-040.pdf	1-69	I	1-38-7-1	(別添)縁遠事件に関する外務省の立場完成稿		1-38-7と同一史料	一、古い事であるから余り記憶に残って居ないが関東軍の内蒙古工作の初まったのは昭和十年五月の日支大使交換以後の様に思		2	

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日	内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-070-0-001.pdf	～	1-070-0-004.pdf	1-70	I	1-39-1	岡本述	1946年12月27日	岡本季正の蘆溝橋事件に関する供述。 一、蘆溝橋事件勃発の時岡本は上海の総領事であった。同事件が起ると本省から政府の不拡大方針を伝ふると共に…		4	
1-071-0-001.pdf	～	1-071-0-006.pdf	1-71	I	1-39-2	岡本氏供述案	1947年1月24日	直前史料(1-39-1)と同一史料。 一、蘆溝橋事件勃発の時岡本は上海の総領事であった。同事件が起ると廣田外務大臣から現地解決、事件不拡大の政府方針を伝		6	
1-072-0-001.pdf	～	1-072-0-006.pdf	1-72	I	1-39-3-1	岡本季正氏供述稿	1947年3月23日	直前史料(1-39-1/1-39-2)の原本。 一、私は一九一八年十一月外務省の勤務に入り、爾来外務本省及英国、米国、中国の各地で勤務の後一九四一年十一月乃至一九四六年三月拝命全権公使として瑞典国に在		6	
1-073-0-001.pdf	～	1-073-0-004.pdf	1-73	I	1-39-3-2	一、私は一九一八年十一月外務省の勤務に入り	岡本季正供述稿。直前史料(1-39-3)と同一史料。 一、私は一九一八年十一月外務省の勤務に入り、爾来外務本省及英国、米国、中国の各地で勤務の後一九四二年十一月乃至一九四六年三月拝命全権公使として瑞典国に在		4		
1-074-0-001.pdf	～	1-074-0-003.pdf	1-74	I	1-39-3-3	(岡本)	岡本季正供述稿。直前史料(1-39-3)と同一史料。 一、私は一九一七年十月外務省の勤務に入り、爾来外務本省及英国、米国、中国の各地で勤務の後一九四二年十一月乃至一九四六年一月拝命全権公使として瑞典国に在勤		3		
1-075-0-001.pdf	～	1-075-0-003.pdf	1-75	I	1-39-4	岡本氏供述追加	1947年3月16日	直前史料への追加部分。 三、前述の様に私が上海方面の平和維持の為折角努力中、八月六日私は廣田外相から数通の重要訓電を受けました…		3	
1-076-0-001.pdf	～	1-076-0-003.pdf	1-76	I	1-39-3-4	岡本供述(草稿)	岡本季正供述稿。直前史料(1-39-3)と同一史料。 一、自分ハ昭和十二年五月総領事兼大使館参事官トシテ上海ニ赴任シタルガ七月七日蘆溝橋事件発生ヨリ一ヶ月後/確力八月六日ニ廣田外務大臣ヨリ数通/重要訓電		3		
1-077-0-001.pdf	～	1-077-0-002.pdf	1-77	I	1-40	柳井氏述守島記	1947年8月29日	在満寄稿の改組に関する柳井恒夫供述。 昭和十年陸軍から政府に対し陸軍の総意を云々して在満帝國機横の改組と云ふ事を強要した、自分(当時東亞局第三課長)には軍務局の誰からか話があったが、首相や外相には陸軍大臣から申入れがあったものと思	守島伍郎	2	本文冒頭に「不要」との書き込みあり。
1-078-0-001.pdf	～	1-078-0-002.pdf	1-78	I	1-41-1	岡田啓介氏述	1947年6月6日	守島伍郎の聞き取り首相。五相会議/海軍軍縮問題/東條推薦の件/昭和一六年九月二九 一、五相会議(守島より齊藤内閣の五相会議の事に言及し、当時の経緯を承知し度しと述べたるに対し)当時自分は最早海相でなかった(大角か)、それ故右経緯は知らぬ…	守島伍郎	2	
1-079-0-001.pdf	～	1-079-0-002.pdf	1-79	I	1-42-1	廣田述(19471117)	1947年3月7日	三国同盟条約関係供述 三国同盟条約一件 近衛内閣が重臣を呼んで三国条約締結の次第を報告した事がある。政府からは近衛、松岡、東条、星野等が出席して居った…		2	

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-080-0-001.pdf	～	1-080-0-002.pdf	1-80	I	1-42-2	廣田氏述(1947V11129)	1947年8月29日	内閣発足時/昭和十二年一月議 会/第一次近衛内閣	陸軍が陸軍の総意を云々して自分(廣田)又は政府に対し我意を張り強硬的態度を執った事は度々あったが、自分がはっきり記憶して居る顕著な例は左の三件である...	守島	2	各事項の上部に「要」「不要」との書き込みあり。
1-081-0-001.pdf	～	1-081-0-004.pdf	1-81	I	1-43	誰人準備状況調書	昭和22年6月		証人予定者の住所一覧		2	添付に同様の住所録1枚
1-082-0-001.pdf			1-82	I	1-44	起訴事項と研究問題と/関係			大陸侵略政策 満州事変/拡大防止二努メザルノミナラズ関外へ/進出等二協カス...		6	6枚つなぎ
1-083-0-001.pdf	～	1-083-0-187.pdf	1-83	I	1-45	最終弁論廣田弘毅個人部門(Def. Doc. +3106)			序論 廣田弘毅氏ハ提起サレタ起訴状ノ中ニ述ベテアル訴因五十五/内四十八/訴因(1)ニ依リ起訴サレテ居ル...	ジョージ山岡/ 花井忠/渋沢信一	187	Def. Doc. 井3106
1-084-0-001.pdf	～	1-084-0-045.pdf	1-84	I	1-46	極東国際軍事裁判所判決C部第九章起訴状の訴因についての認定	1948年11月1日		府を樹立し、その経済を日本の支配下に置こうとして、日本の陸軍が右の地域でとつた政策をかれは承認し、積極的に支持した。...		45	表紙に朱書きで「控」の書き込み・一部抜粋 Japanese Translation by Language Division IMTFE
1-085-0-001.pdf			1-85	I	1-47-1	海軍作戦経過概要図(昭和十七年五月二十日現在)海軍省	昭和17年5月22日		太平洋を中心とした海軍の作戦状況	海軍省	1	
1-086-0-001.pdf	～	1-086-0-002.pdf	1-86	I	1-47-2	陸軍南方作戦一般要図自昭和十七年三月十一日至現在	1942年5月		太平洋を中心とした陸軍の作戦状況	陸軍省	2	同様史料2部
1-087-0-001.pdf	～	1-087-0-006.pdf	1-87	I	1-48-2	三平和と王道(書名不明)		日本の「王道」思想に関する陳述	本件の誰彼中に王道と云ふ言葉が多くのところには現はれて居る...	鶴沢聡明	5	一部抜粋
1-088-0-001.pdf	～	1-088-0-061.pdf	1-88	I	1-48-1	一般弁論書		直前史料(1-48-2)の前段部 —欲せざる戦争 —欲せざる戦争/二正義と責	—欲せざる戦争 有史以来世界に戦争がある。...	鶴沢聡明	40	「鶴沢博士草稿」という書き込み
1-089-0-001.pdf	～	1-089-0-091.pdf	1-89	I	1-49	手帆巢鴨歌日記	1949年10月17日		序に代へて 私が戦犯容疑者として巢鴨拘置所に入所したのは昭和二十年十二月十二日であります。最初に入った部屋は独房で...	有馬雨萩/協同文化公社刊行/非売品		
1-090-0-001.pdf	～	1-090-0-095.pdf	1-90	I	1-50	責任論草野博士稿			—裁判長並に裁判官各位。私は、今、茲に被告等の為に其の起訴せられて居る犯罪事項につき...	草野豹一郎?		
1-091-0-001.pdf	～	1-091-0-034.pdf	1-91	I	1-51	〔表紙〕木戸日記のいきさつ〔裏表紙〕東京裁判メ		雑多メモ		守島伍郎のものか?	32	朝日新聞支局の手帳力
1-092-0-001.pdf	～	1-092-0-091.pdf	1-92	I	1-52	極東国際軍事裁判研究木戸日記木戸被告人宣誓供述書全文	1947年11月15日			極東国際軍事裁判研究会編/平和書房		
1-093-0-001.pdf	～	1-093-0-095.pdf	1-93	I	1-53	歌集巢鴨	1951年10月		歌集	歌集編集委員:高橋丹作/小林逸路/冬至堅太郎		

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考	
1-094-0-001.pdf	～	1-094-0-002.pdf	1-94	I	1-54	守島伍郎発花井忠宛満洲国関連研究送り状			送り状のみ	花井忠へのメモ書き	1		
1-095-0-001.pdf	～	1-095-0-018.pdf	1-95	I	1-55	大東亜戦争二敗ル、前後			後半部欠落	昨年四月ビルマヨリ帰還セルトキ言論/自由ヲ持タザリシガ小生ハ印度戦線二...	19		
1-096-0-001.pdf	～	1-096-0-052.pdf	1-96	I	1-56-2	I 法 I I 朝日新し記			極東裁判に関する記事及び記者の手記並びにメ	戦犯住所		野村某	
1-097-0-001.pdf	～	1-097-0-047.pdf	1-97	I	1-56-2	極東国際軍事裁判朝日 野村				裁判に関する研究ノト	42	野村某	
1-098-0-001.pdf			1-98	I	1-57	証人経費等申請規定通知書	1947年9月8日			爾今誰人出頭の際は直にその旨を誰人係に御届け下さい。...	1	日本弁護士会運営委員/花井忠宛	
1-099-0-001.pdf	～	1-099-0-003.pdf	1-99	I	1-58-1	占領地行政等二従事セシムル文官二関スル件(昭和一七、七、二閣議)	1942年7月2日	閣議決定		大東亜諸地域占領地行政等二従事セシムベキ文官二際シテハ爾今左記方針ニ依ルモノトス...	3		
1-099-0-004.pdf	～	1-099-0-005.pdf	1-99	I	1-58-2	陸軍特設部隊等臨時職員設置制(昭和一七、三、六勅令一三三昭和一八、六、一勅令六)	昭和17年3月6日			第一条大東亜戦争二際シ陸軍特設部隊等ハ必要ニ応ジ通ジテ左ノ職員ヲ置クコトヲ得。...	2		
1-100-0-001.pdf	～	1-100-0-006.pdf	1-100	I	1-59	刀 汲 閻 閻 流 山 富 叫 兄 太				弁護団側提出書証一覧表	6	弁護団文書課	
1-101-0-001.pdf	～	1-101-0-002.pdf	1-101	I	1-60-1	1946年12月29日付ピゴットの回答書写し送付書。	1947年5月21日		1946年12月29日付「付弁護団文書573号(ファーンネスよりピゴット宛 荒木貞夫に関する質問書)に対するピゴットの回答書写し送付書。確認書 Def. Doc 井573-A, 340-A	一九四六年十二月極東国際軍事裁判ファーンネス氏は貴下と面談の上、目下東京に於て審理中の戦争犯罪裁判被告たる荒木貞夫男爵に対する貴下の交友並に御承知の事項を承はり度同封の如き質問書(弁護団文書第五七三号)を提出致しました。...	2	Def. Doc. 井573-A, 340-A	極東国際軍事裁判所弁護人ローレンス、J、マクマナス発/英国サーレイ州ラブスレー、ユーハーストF, S, G, ピゴット少尉宛
1-102-0-001.pdf			1-102	I	1-60-2	極東国際軍事裁判所 ローレンス、J、マクマナス殿	1947年6月12日		直前史料に対するピゴットよりマクマナス宛礼状 Def. Doc 井573-A, 340-A	五月二十一日附貴翰拝誦御要求の件何等面倒な事ではありませんから御安心下さい。寧ろ友人男爵荒木貞夫大将の為に御役に立つ事は喜びあり且つ義務であります。...	1	Def. Doc. 井573-B Def. Doc. 井340-B	F, S, G, ピゴット

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-103-0-001.pdf	～ 1-103-0-002.pdf	1-103	I	1-60-3	リンドレーヘファーネス宛回答書(弁護文書第638号)への署名願ひ	1947年5月20日	Def. Doc. NO. 638-A	一九四六年十二月極東国際軍事裁判ファーネス氏は貴下と御面談の上、当戦争犯罪裁判被告の一人たる荒木貞夫男爵に対する貴下の交友並に御承知の事項を承はり度く御願申上げました。...	極東国際軍事裁判所弁護人 ローレンス、J、マクマナス発/英国ハムプシャー州フラシス・O・リンドレー卿宛	2	Def. Doc. 井 NO. 638-A
1-104-0-001.pdf		1-104	I	1-60-4	ケネディーよりマクネス宛署名及証明書返送書	1947年6月11日	Def. Doc. NO. 573-B Def. Doc. NO. 356-B Def. Doc. NO. 339-B	五月二十日附貴翰拝読、御中越の通り書類に署名及証明書添付の上御返答申し上げます。...	マルコルム、D、ケネディー発/極東国際軍事裁判所 ローレンス、J、マクマナス宛	1	Def. Doc. 井573-B Def. Doc. 井356-B Def. Doc. 井339-B
1-105-0-001.pdf	～ 1-105-0-002.pdf	1-105	I	1-60-5	弁護側文書第五七三号	1946年12月29日	荒木貞夫に関するピゴットへの質問書	一、荒木貞夫大将トハ何時カラオ知り合ヒデスカ...	極東国際軍事裁判所弁護人ローレンス、J、マクマナス発/英国サレー州ラプスレー、ユーハースト F S G ビ	2	Def. Doc. NO. 573
1-106-0-001.pdf	～ 1-106-0-007.pdf	1-106	I	1-61-1	極東国際軍事裁判所 亜米利加合衆国其他 対荒木貞夫其他宣誓供述書供述者御手	1947年7月7日	Def. Doc. NO. 2013	自分儀我国二行ハルル方式ニ従ヒ先ツ別紙/通り宣誓ヲ為シタル上次/如ク供述致シマス...	御手洗辰雄	7	Def. Doc 2013
1-107-0-001.pdf	～ 1-107-0-006.pdf	1-107	I	1-61-2	極東国際軍事裁判所 亜米利加合衆国其他 対荒木貞夫其他宣誓供述書供述者齊藤	1947年	Def. Doc. NO. 2038	自分儀我国二行ハルル方式ニ従ヒ先ツ別紙/通り宣誓ヲ為シタル上次/如ク供述致シマス...	齊藤正鋭	7	Def. Doc 2038
1-108-0-001.pdf	～ 1-108-0-003.pdf	1-108	I	1-62	昭和二十年九月五日 陸軍高等軍法会議被告人増田道義	1945年9月5日	司政長官任命経緯/フィリピンにおける(動向昭和19年以降)	武道、古イ六段昭和九年剣道教師、趣味ハ剣道ト読書...		3	
1-109-0-001.pdf		1-109	I	1-63	縁遠事件に関する供述		史料の詳細は不明。	二十二右交渉は九月八日以来主として南京に於て行はれました、該交渉の経過は現存して居る其の当時の外務省公表に詳しく出		1	
1-110-0-001.pdf	～ 1-110-0-011.pdf	1-110	I	1-64	マ司令部の新聞検閲第六回報告(自八月一日至十月十二日)	8月1日	検閲対象箇所一覧表	最近の著るしい現象は「保留」の激増であります甚しきは一日に十件を算へる有様で、整理部としても紙面製作上非常な困難と混乱を連日繰り返して居ります。...	査閲課	1 1	
1-111-0-001.pdf	～ 1-111-0-006.pdf	1-111	I	1-65-1	少数意見朗読の為の動議を支持する弁論		ベン・フルース・ブレイクニーによる弁論書(同人は梅津美治郎弁)	本判決中の少数意見を法廷において朗読することについての全被告の動議を支持する為、左の諸点を指摘せんとする。...	Ben Bruce Blakeney	6	1-112と同
1-112-0-001.pdf	～ 1-112-0-006.pdf	1-112	I	1-65-2	少数意見朗読の為の動議を支持する弁論		直前史料と同一	本判決中の少数意見を法廷において朗読することについての全被告の動議を支持する為、左の諸点を指摘せんとする。...		6	1-111と同一鉛筆で書き込み在り

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-113-0-001.pdf	～	1-113-0-016.pdf	1-113	I	1-66	自昭和二年一月至昭和五年十二月 関東軍参謀部最近四年間ニ於ケル満蒙関係事件一覽		D. D. NO. 897A	最近四年間ニ於ケル満蒙関係事件一覽表	関東軍参謀部	1 6	D. D. 井894A
1-114-0-001.pdf	～	1-114-0-032.pdf	1-114	I	1-67	米国の日支経済視察団員チアールス・ジエ・カロール氏との話	1935年6月21日		他に「ホスケン夫 人招待会に於て」収録		32	星の断定出来ず
1-115-0-001.pdf	～	1-115-0-002.pdf	1-115	I	1-68	田住元三訊問調書抜粋			ランゲーン俘虜 収容所に関する箇所層雲より抜	問三「ランゲーン」俘虜収容所に於ける俘虜に対し娯楽、慰安等に付を何か施策せしや...	1	Def. Doc. No2207
1-116-0-001.pdf	～	1-116-0-008.pdf	1-116	I	1-69	官報号外昭和七年六月十五日第六十二回帝國議會衆議院議事速記録第九号昭和七年六月十四日閣議決議案(満州国/承認ニ関ス)	1947年5月16日	Def. Doc. NO. 1869	決議案 政府ハ速ニ満州国ヲ承認ス可シ 右決議ス...	衆議院議員山崎高	4	Def. Doc. NO. 1869・立会人武井次男
1-117-0-001.pdf	～	1-117-0-003.pdf	1-117	I	1-70	証拠第一号UA3俘虜情報局月報ヨリ抜粋俘虜管理改善ニ関スル件	1947年5月20日	Def. Doc. NO. 2007	陸軍次官ヨリ関係部隊へ通牒 従来俘虜管理ハ勞務利用ヲ重視シ來レル処 直接戦力増強ニ対スル寄与/他...	俘虜情報局長 官事務取扱 中西貞喜	2	Def. Doc. NO. 2007
1-118-0-001.pdf	～	1-118-0-002.pdf	1-118	I	1-71	今上天皇陛下即位/勅語	1947年8月16日	官報より抜粋 Def. Doc. NO. 2124	朕惟フニ我力皇祖祖宗惟神ノ大道二道ヒ天業ヲ經綸シ万世不易ノ基ヲ肇メ一系無窮ノ永祚ヲ伝ヘ、以テ朕力身ニ...	佐藤朝生	2	Def. Doc. No. 井2124・立会人岩永賢一
1-119-0-001.pdf	～	1-119-0-015.pdf	1-119	I	1-72	昭和十六年十二月一日御前會議ニ於ケル外務大臣説明	1947年7月7日	Def. Doc. NO. 1892 立会人浦部勝馬	本日ハ主トシテ十一月五日御前會議以後ニ於ケル日米交渉/経緯ニ付御説明中上ゲマス...	林馨	8	Def. Doc. NO. 1892・立会人浦部勝馬
1-120-0-001.pdf	～	1-120-0-007.pdf	1-120	I	1-73-1	太平洋部門、戦争準備(陸軍)冒頭陳述			被告側は只今より、日本陸軍が太平洋戦争に先だち如何なる計画、如何なる準備を為すことに関与したのかの誰彼を裁判所に提出せんとするものであります。...	GFブリウエツト	7	
1-121-0-001.pdf			1-121	I	1-73-1-1	太平洋部門戦争準備(陸軍)冒頭陳述中正誤			三頁、終より三行「証書」は「書証」に改む...		1	
1-122-0-001.pdf	～	1-122-0-002.pdf	1-122	I	1-73-1-2	正誤表第五部太平洋戦争小部門第四一軍事(海軍の部)冒頭陳述			一頁一〇行誤太平洋段階なる小部門を正太平洋段階に更に小部門を...	ブラナン弁護人	2	
1-123-0-001.pdf			1-123	I	1-73-1-3	弁護側書証一四五号正誤		Def. Doc. NO. 1455	六頁文書の出版並に成立に関する証明書...		1	Def. Doc. 井1455
1-124-0-001.pdf	～	1-124-0-005.pdf	1-124	I	1-73-2	冒頭陳述第五部俘虜関係			ではこれより太平洋段階の第五部に入り度いと存じます。これは俘虜並に一般被抑留者の待遇に関するものであります。...	フリーマン弁護人	3	
1-125-0-001.pdf	～	1-125-0-002.pdf	1-125	I	1-73-2-1	冒頭陳述(正誤表)第五部俘虜関係フリーマン弁護人			一頁四行目ヨリ六行目 「その惨害から逃れることが出来なかつたのであります。ひとたび戦争が起るやそれは恰も伝染病のやうに」迄を削除...		2	
1-126-0-001.pdf			1-126	I	1-74	主要人物経歴表			1928年～1945年までの廣田弘毅、松岡洋右、大島浩、重光葵、白鳥敏夫、東郷茂徳の		1	
1-127-0-001.pdf	～	1-127-0-005.pdf	1-127	I	1-75	カニングハム氏独逸ヨリ婦朝報告昭和二十一年九月十八日夕弁護人会ニ於テ	1946年9月18日	花井忠のニューンベルクヨリ婦朝報告	鶴沢先生ソレデハ御紹介ヲ中上ゲマス先生ハ「ニュウルンベルグ」ノ方ニ御見学ナリマシテ	花井忠?	5	

PDFファイルNo.			ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-128-0-001.pdf	～	1-128-0-003.pdf	1-128	I	1-76-1	提出準備書類目録(其ノ五)	1946年11月13日				3	
1-128-0-004.pdf	～	1-128-0-007.pdf	1-128	I	1-76-2	提出準備書類目録(其ノ六)	1946年11月13日				3	
1-129-0-001.pdf	～	1-129-0-071.pdf	1-129	I	1-77	極東国際軍事裁判公判速記録事項対応表			誰人・書証・立証目的・内容要約等記載		71	
1-130-0-001.pdf			1-130	I	1-78	日本アメリカ映画協会より久保久治宛礼状	1938年10月8日	久保久治の米国映画への貢献につき礼状電信	拝啓。日本に対するアメリカ映画の輸入を再開し今日迄溜つてゐる上演料の一部を引続き送金するやうに計ふための我々の努力に対し貴下が与へられた援助に感謝したいと	アメリカ映画協会主導エムロベルガー発／久保久治宛	1	
1-131-0-001.pdf	～	1-131-0-029.pdf	1-131	I	1-79	極東国際軍事裁判所亜米利加合衆国其他対荒木貞夫其他宣誓供述書供述者田中新		D. D. NO. 1661	(イ)日本陸軍平時作戦/大部分ヲ占ムルモノハ質的ニモ対「ソ」受動作戦デアツタ。...	田中新一	28	D. D. NO. 1661
1-132-0-001.pdf	～	1-132-0-050.pdf	1-132	I	1-80	速記録証二号薩摩雄次			私の如き微力なもので運動が効を奏さなかつたかもしれませんが米英を向ふに廻して戦へと云ふ事は私二十年前の主張であります	薩摩雄次	48	
1-133-0-001.pdf	～	1-133-0-010.pdf	1-133	I	1-81-1	荒木に関する冒頭陳述		荒木冒頭陳述より以前の部位欠落。 Def. Doc.	2. 共同謀議に加入したる事なき立証 検事は荒木は共同謀議に加入し侵略思想を宣伝し、教育し且、青年将校を煽動したと主張致しました。...	ローレンス・ジェー・マクマナス、菅原裕	5	Def. Doc. 井2486
1-133-0-011.pdf	～	1-133-0-077.pdf	1-133	I	1-81-2	極東国際軍事裁判所亜米利加合衆国其他対荒木貞夫其他宣誓供述書供述者荒木貞夫	1947年8月15日	Def. Doc. NO. 2488	一、陸軍大臣就任迄の情況 余は昭和三年(一九二八年)一月以降昭和六年(一九三一年)陸軍大臣就任迄は参謀本部第一部長昭和三年(一九二八年)八月迄陸軍大学校長...		67	Def. Doc. 井2488
1-133-0-078.pdf	～	1-133-0-086.pdf	1-133	I	1-81-3	土肥原賢二に関する冒頭陳述		Def. Doc NO. 2556	裁判長並に裁判官各位 被告土肥原賢二関係の弁論を開始するに当りまして我々は幾多の誰人を取調べ且つ実際数百の書類を検討致しましたのであります	フランクリン・E・M・ウオーレン、太田金次郎	5	Def. Doc. 井2556
1-133-0-087.pdf	～	1-133-0-097.pdf	1-133	I	1-81-4	畑俊六に対する検察側陳述		Def. Doc. NO. 2581	裁判長並二判事閣下 被告人畑俊六/弁護側トシテ本件ヲ弁護スルニ当リマシテ検察官側デ簡單ニ被告/有罪ヲ指摘シマシタヤウニ弁護側ニ於キマシテ弁論/要旨ヲ簡單明瞭ニシタイト存ジマス...		1	1 Def. Doc. 井2581
1-133-0-098.pdf	～	1-133-0-106.pdf	1-133	I	1-81-5	極東国際軍事裁判所亜米利加合衆国其他対荒木貞夫其他宣誓供述書供述者橋本欣	1947年9月5日	Def. Doc. NO. 2231	一、私ハ明治四十四年(一九一一年)十二月陸軍砲兵少尉ニ任ゼラレテ以來軍籍ニアリマシタ...		9	Def. Doc. 井2231
1-133-0-107.pdf	～	1-133-0-112.pdf	1-133	I	1-81-6	冒頭陳述被告星野個人段階			裁判長及裁判官各位 被告星野/為メニ提出セラルベキ證據ハコレヲ明瞭ニスル為メニ三ツノ部分即チ一九三二年ヨリ一九四〇年ニ至ル満州時代、一九四〇年ヨリ一九四一年ニ至ル企画院時代、一九四一年十月十八日以後ノ内閣書記官長時		6	Def. Doc. 井
1-133-0-113.pdf	～	1-133-0-118.pdf	1-133	I	1-81-7	弁護側書類第二六六〇号賀屋興宣冒頭陳述		Def. Doc. NO. 2660	簡潔に被告賀屋の冒頭陳述を行ふに当りまして我々は最初に左の事柄を指摘する事を必要と思ふものであります。...		6	Def. Doc. NO. 2660

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
1-134-0-001.pdf	～ 1-134-0-257.pdf	1-134	I	1-82	弁護側文書第三一〇号極東国際軍事裁判所弁護側最終弁論日米交渉	1948年3月	Def. Doc. NO. 3100	日米交渉 一、次の弁論は、本裁判を通じ大いなる問題であり、且、本件三訴因と目さるべき、一九四一年の日米交渉に関するものである。...	ベン・フルース・ブレイクニー／西春彦／新納克己／加藤傳次郎／	256	Def. Doc. 井3100
1-135-0-001.pdf		1-135	I	1-83	〔写真〕			東京裁判写真		1	
2-001-0-001.pdf	～ 2-001-0-152.pdf	2-1	II	2-1-1	極東国際軍事裁判所判決付属書A/部			主題 「ポツダム」宣言－日本国政府条件附受諾－日本国政府条件附受諾二対スル国務長官回答－日本国/最後の受諾・降伏文書・「モスコ」会議協定・極東国際軍事裁判所設置二関スル特別宣言・極東国際軍事裁判所条例・起訴状 本文：「ポツダム」宣言一九四五年七月二十六日「アメリカ」奇奇国「イギリス」連合	極東国際軍事裁判所	145	JUDGMENT, I. M. T. F. E. ANNEXES (A) Japanese Translation by Language Division, IMTFE
2-002-0-001.pdf	～ 2-002-0-204.pdf	2-2	II	2-1-2	極東国際軍事裁判所判決付属書B/部			土題 国際紛争平和的処理条約・1899年7月29日「ハーグ」ニ於テ調印・所謂義和団事件/終結ニ際シテノ最終議定書・1901年9月7日北京ニ於テ調印・「ポーツマス」条約・1905年9月5日調印・日米両国/極東政策ヲ宣言スル同文通牒・1908年11月30日「ワシントン」ニ於テ交換－日本国及ビ「ソビエツト」社会主義共和国連邦間/関係ヲ律スル基本的規則ヲ包含スル協約・1925年1月20日北京ニ於テ調印・「ヴェルサイユ」条約・1919年/平和条約、国際連盟規約、委任統治領、阿片取引・1919年6月28日「ヴェルサイユ」ニ於テ調印、1920年1月10日午後4時15分ヨリ実施・日米委任統治条約・1922年2月11日「ワシントン」ニ於テ調印・四国条約・1921年12月13日「ワシントン」ニ於テ調印・四国条約付属声明・四国条約追加協定・1922年2月6日「ワシントン」ニ於テ調印・四国誓約・「オランダ」国ニ対スル「ルクセンブルグ」日米「大阪」太田回吉日・四回哲	極東国際軍事裁判所	198	p1～198
2-003-0-001.pdf	～ 2-003-0-569.pdf	2-3	II	2-1-3	亜米利加合衆国その他対荒木貞夫その他印度代表バル判事判決書			これらの被告に対する起訴事項は、三類五十五訴因にわけて挙げられている。すなわち、第一類平和に対する罪（訴因第一ないし第三六）第二類殺人（訴因第三七ないし第五二）第三類通例の戦争犯罪及び人道に対する罪（訴因第五三ないし第五五）...	極東国際軍事裁判所	571	p1～571
2-004-0-001.pdf	～ 2-004-0-116.pdf	2-4	II	2-2	(起訴状)			極東国際軍事裁判所第一号 亜米利加合衆国、中華民国、大不列顛北愛蘭連合王国、「ソビエツト」社会主義共和国連邦、濠洲連邦、加奈陀、佛蘭西共和国、和蘭王国、新西蘭、印度及び比律賓国対被告		114	題名は朱書き
2-005-0-001.pdf	～ 2-005-0-207.pdf	2-5	II	2-1-2	極東国際軍事裁判所判決付属書B/部					200	p1～200 (2-2と同文書と思われる)
2-006-0-001.pdf	～ 2-006-0-213.pdf	2-6	II	2-3-1	判決B部第四章続軍部による日本の支配と戦争戦争準備・第五章日本の中国に対する侵略第一節及び第二節			同内閣の困難は再び増大したといった。かれは、これらの政策かもし出した動揺と不満の結果として、結局はドイツに有利な新しい内閣が成立することになるであろうと考え、そのときが来れば、近衛が新しい総理大臣にな		216	326～410、1～126

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
2-007-0-001.pdf	～ 2-007-0-186.pdf	2-7	II	2-3-2	判決B部第5章 日本の中国に対する侵略第三節～第七節第六章ソビエト連邦に対する			日本の満州と熱河占領は、一九三三年春の塘沽停戦協定調印とともに完了した。…		189	127～247、1～62
2-008-0-001.pdf	～ 2-008-0-154.pdf	2-8	II	2-3-3	判決B部第八章通例の戦争犯罪（残虐行為）・C部第九章起訴状の訴因についての認			すべての誰彼を慎重に検討し、考量した後、われわれは、提出された多量の口頭と書面による誰彼を、このような判決の中で詳細に述べることは、实际的でないと認定する。…		157	1～141、1～10
3-001-0-001.pdf	～ 3-001-0-014.pdf	3-1	III	3-1	JAPAN AGAIN The Address of Major-General F. S. G. PIGGOTT, C. B. , D. S. O. at THE JAPAN SOCIETY MEETING on March 5th,	1940年3月5日		It gives me great pleasure to preside at today's Meeting and to see so many friends gathered together. . . .	Major-General F. S. G. PIGGOTT, C. B. , D. S. O.	20	写真添付2枚（著者力）
3-002-0-001.pdf	～ 3-002-0-141.pdf	3-2	III	3-2-1	" LEFT WING RIGHT WING PART 2" : APPENDIX I		「左翼と右翼」参考史料:戦前日本における政治団体調べ	Following the arrest of communist leaders on 15 March 1928 and the dissolution of the RODONOMINTO (Labor Farmer Party) on 10 April 1928, the MUSAN TAISHU TO (Proletarian Masses Party) was organised on 22 July 1928 by a group led by DAIZO Keiichi. . . .	GENERAL HEADQUARTERS FAR EAST COMMAND MILITARY INTELLIGENCE SECTION, GENERAL STAFF CIVIL INTELLIGENCE SECTION	137	
3-003-0-001.pdf		3-3	III	3-3	政治条約二拋ル各国關係図表	1940年1月	図表	本図表ハ昭和十五年（一九四〇年）一月現在ノ世界ニ於ケル同盟、相互援助、不侵略或ハ中立等ニ関スル条約ヲ図解シ各国ノ政治的連繫ノ状態ヲ一目瞭然タラシムル意図ヲ以テ作成セルモノナリ…	外務省条約局	1	
3-004-0-001.pdf		3-4	III	3-4	PLOTTING CHART PACIFIC OCEAN		地図	(本文なし)		1	
3-005-0-001.pdf	～ 3-005-0-412.pdf	3-5	III	3-5-1	THE COMPLETE HISTORY OF THE GREATER EAST ASIA WAR VOLUME I BY		服部卓四郎『大東亜戦争全史』（英訳）	Our country has finally gained independence. . . .		390	

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
3-006-0-001.pdf	~ 3-006-0-493.pdf	3-6	Ⅲ	3-5-2	THE COMPLETE HISTORY OF THE GREATER EAST ASIA WAR VOLUME II BY		服部卓四郎 『大東亜戦争全史』 (英訳)	The Greater East Asia War is said to have started at 0320 hours, 8 Dec 41 (Japanese time), when the Japanese Navy carried out a surprise attack on PEARL HARBOR. . .	HATTORI TAKUSHIRO	465	
3-007-0-001.pdf	~ 3-007-0-556.pdf	3-7	Ⅲ	3-5-3	THE COMPLETE HISTORY OF THE GREATER EAST ASIA WAR VOLUME IV BY		服部卓四郎 『大東亜戦争全史』 (英訳)	Chapter I . Severance of the Link Between the Northern and Southern National Defense Spheres and the Isolation of Japan, MANCHURIA and CHINA. . .		551	
3-008-0-001.pdf	~ 3-008-0-139.pdf	3-8	Ⅲ	3-2-2	CIVIL INTELLIGENCE SECTION LEFT WING RIGHT WING		「左翼と右翼」 参考史料:戦前日本における政治団体調べ草稿	Following the arrest of communist leaders on 15 March 1928 and the dissolution of the RODONOMINTO (Proletarian Masses Party) was organized on 22 July 1928 by a group led by DAIZOKER!JI, KURODA Hisao and SUZUKI Mosaburo, who were strongly opposed to the extreme attitude of the former RODONOMINTO. . .	GENERAL HEADQUARTERS FAR EAST COMMAND MILITARY INTELLIGENCE SECTION, GENERAL STAFF CIVIL INTELLIGENCE SECTION	139	
3-009-0-001.pdf	~ 3-009-0-112.pdf	3-9	Ⅲ	3-2-3	CIVIL INTELLIGENCE SECTION LEFT WING RIGHT WING		「左翼と右翼」 草稿(初稿)	AIKOKU UNDONENKAN (Patriotic Movement Yearbook), 1938-1939 editions. . .	GENERAL HEADQUARTERS FAR EAST COMMAND MILITARY INTELLIGENCE SECTION, GENERAL STAFF CIVIL INTELLIGENCE SECTION	104	
3-010-0-001.pdf	~ 3-010-0-175.pdf	3-10	Ⅲ	3-6-1	極東国際軍事裁判速記録	1947年11月24日	320~329号、331~339号	昭和二十二年十一月二十四日(月曜日)東京都旧陸軍省内極東国際軍事裁判所法廷に於て...			320~329号、331~339号

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容(説明)	作成者(差出人)	枚数	備考
3-011-0-001.pdf	~ 3-011-0-014.pdf	3-11	Ⅲ	3-7	THE NUREMBERG NOVELTY	1945年11月	雑誌「FORTUNE」誌掲載記事抜粋	Napoleon was exiled and the Kaiser fled. ...	JOHN HAYNES	13	
3-012-0-001.pdf	~ 3-012-0-048.pdf	3-12	Ⅲ	3-8-1	Documents concerning the Anglo-French policy of extending the war	1940年4月27日	ドイツリッペンントロップ外相演説集	Speech delivered by Herrvon Ribbentrop, Reich Minister for Foreign Affairs, to the Diplomatic Corps and the representatives of the Foreign and Home Press in Berlin on	Herrvon Ribbentrop	45	
3-013-0-001.pdf	~ 3-013-0-124.pdf	3-13	Ⅲ	3-2-4	LEFT WING RIGHT WING PART I		「左翼と右翼」草稿(再稿)	AIKOKU UNDONENKAN (Patriotic Movement Yearbook), 1938-1939 sditions. ...	GENERAL HEADQUARTERS FAR EAST COMMAND MILITARY INTELLIGENCE SECTION, GENERAL STAFF CIVIL INTELLIGENCE SECTION	140	
3-014-0-001.pdf	~ 3-014-0-129.pdf	3-14	Ⅲ	3-8-2	POLISH DOCUMENTS RELATIVE TO THE ORIGIN OF THE WAR First Series	1940年	ドイツ外務省戦時関係資料集	After the occupation of Warsaw, Germany acquired important sections of the archives of the former Polish Ministry for Foreign Affairs. ...			
3-015-0-001.pdf	~ 3-015-0-019.pdf	3-15	Ⅲ	3-6-2	極東国際軍事裁判速記録	1948年4月5日	408号	昭和二十三年四月五日(月曜日) 東京都旧陸軍省内極東国際軍事裁判所法廷に於て...			408号
3-016-0-001.pdf	~ 3-016-0-016.pdf	3-16	Ⅲ	3-6-3	極東国際軍事裁判速記録	1948年3月17日	395号	昭和二十三年三月十七日(水曜日) 東京都旧陸軍省内極東国際軍事裁判所法廷に於て...			395号
3-017-0-001.pdf		3-17	Ⅲ	3-9	REVISED ORDER OF PROOF Pacific War Military-Army George Francis Blewett		証拠申請書改訂版	1. Exhibit 2344 2. Exhibit 615-A...	George Francis Blewett	1	
3-018-0-001.pdf		3-18	Ⅲ	3-10	CLASSIFICATION OF DEFENSE DOCUMENTS TO BE SUBMITTED AT THE INDIVIDUAL		弁護側認証資料分類表	General policy (As Foreign Minister) 7, 2, 3, (E. 2434), 76, 78, 80, 81, 82, 119, 125...		1	
3-019-0-001.pdf	~ 3-019-0-012.pdf	3-19	Ⅲ	3-11	[主題不明]						使用言語不明

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
3-020-0-001.pdf	～ 3-020-0-002.pdf	3-20	Ⅲ	3-12	Leave of Absence	1945年8月27日	各部署への回覧資料不在員名簿	1. Leave of absence is granted to the following-named officers, effective on or about the date specified. . . .		1	War Department the Adjutant General's Office Washington, D C
3-021-0-001.pdf	～ 3-021-0-002.pdf	3-21	Ⅲ	3-13	Orders	1945年8月17日	ボストンの情報機関への出張命令書	1. Major Thomas P. Davis, 090023, M. I., will proceed on or about 19 August 1945, from Alexandria, Virginia, to Boston, Massachusetts, for temporary duty in connection with activities of the Military Intelligence Service and upon . . .	A(Adjutant General P. H. Ackerman to Major Thomas P. Davis, M. I.	2	
3-022-0-001.pdf		3-22	Ⅲ	3-14	AFFIDAVIT by Joseph C. Grew	1947年10月15日	グルーの宣誓供述書	I, Joseph C Grew, being first duly sworn, make oath and say that I called at noon on December 17, 1937, on Mr. Koki Hirota . . .		1	
3-023-0-001.pdf	～ 3-023-0-022.pdf	3-23	Ⅲ	3-15	U. S. A. AND OTHERS V. ARAKI AND OTHERS SEPARATE OPINION OF THE PRESIDENT	1948年11月1日	国際法から見た日本の戦争犯罪等に関する意見	The Charter is binding as it is International Law, the Potsdam Declaration and the Instrument of Surrender put into operation by the military of the Supreme Commander of the Allied Powers in occupation of Japan. . . .		21	ARAKI とあるが、荒木を示しているの？内容は日本の政治体制と天皇制にのみ言及しており、題名が示す個別の重名は無い
3-024-0-001.pdf	～ 3-024-0-175.pdf	3-24	Ⅲ	3-16	THE BROCADE BANNER The Story of Japanese Nationalism	1946年9月23日		Japanese nationalism is entirely unrelated to occidental forms of nationalism because of its religious angle. . . .		171	
3-025-0-001.pdf	～ 3-025-0-016.pdf	3-25	Ⅲ	3-6-4	極東国際軍事裁判速記録	1948年3月9日	389号	昭和二十三年三月九日(火曜日) 東京都旧陸軍省内極東国際軍事裁判所法廷に於て . . .			389号
3-026-0-001.pdf	～ 3-026-0-176.pdf	3-26	Ⅲ	3-6-5	極東国際軍事裁判速記録	1946年10月9日	86～99号	昭和二十一年十月九日(水曜日) 東京都旧陸軍省内極東国際軍事裁判所法廷に於て . . .			86～99号(重複あり)

PDFファイルNo.		ID	Box No.	No.	題名	年月日		内容（説明）	作成者（差出人）	枚数	備考
3-027-0-001.pdf	~ 3-027-0-181.pdf	3-27	Ⅲ	3-2-5	LEFT WING RIGHT WING		「左翼と右翼」		GENERAL HEADQUARTERS FAR EAST COMMAND MILITARY INTELLIGENCE SECTION, GENERAL STAFF CIVIL INTELLIGENCE SECTION	180	
3-028-0-001.pdf		3-28	Ⅲ	3-17	ARTERIES of The PACIFIC	1943年11月8日	図表	This map shows why it will take time to get to the heart of the trouble in the Pacific. . . .		1	
3-029-0-001.pdf		3-29	Ⅲ	3-18	The Fight Has Just Begun	1942年9月28日	地図			1	
3-030-0-001.pdf	~ 3-030-0-066.pdf	3-30	Ⅲ	3-19	TENTATIVE TRANSLATION		日本の各種政策に関する資料仮約	The Documents of Decision on Important National Policies having direct relations to the outbreak of the War.			
3-031-0-001.pdf		3-31	Ⅲ	3-20	THE JAPS ARE DIGGING IN	1943年4月26日	地図			1	
3-032-0-001.pdf		3-32	Ⅲ	3-21	PACIFIC ARENA A FORTUNE MAP	1942年9月	地図	Of all great areas of this world war, the Pacific is the most difficult to conceive and visualize as a whole. . . .		1	